

# 2025 年度事業計画

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

## I はじめに

一般財団法人中部圏創造ファンド（以下本財団と言う）は、地域や社会の課題解決に向けて活動する NPO などによる民間公益活動に対して、資金支援や人材育成支援等の非資金的支援を行うことを通じて、将来にわたって安心して暮らせる持続可能な地域社会を創造し、もって中部圏における公益の増進に寄与することを目的に活動している。

今日、子ども・若者、シングルマザー、在住外国人などの中で、多くの人々が困難を抱えている。また、過疎化が進む中で多くの地域社会が困難な状況に直面し、中部圏ではさらに南海トラフ巨大地震対策など将来の暮らしに関わる社会課題も存在している。これらの解決のためには、行政のみでは対応できないことも多く、NPO などによる民間公益活動の果たす役割がますます重要になっている。

設立以来 8 年度目となる 2025 年度においても、本財団は、寄付金、助成金、公益目的事業受託金などで調達した資金を活用し、積極的に地域社会の課題解決に取り組んでいく。

## II 民間公益活動支援事業

### 1 困難を抱える人・地域への支援

#### (1) 地域コミュニティの発展事業

2023 年度から 2026 年度までの助成金により実施する「地方都市・農山村におけるコミュニティの持続発展事業」について、本年度も 3 チーム 11 団体に対し助成金を交付するとともに、各チーム活動の成果と持続性を高めるため各種研修などにより伴走支援する。

予算：休眠預金活用\_草の根活動 2023 の助成金 41,200,978 円

#### (2) 子ども/若者など社会的弱者への支援事業

2024 年度から 2027 年度までの助成金により実施する「子ども/若者の居場所機能強化事業」について、本年度は、選定した 5 つの民間公益活動団体と契約するとともに、活動の成果と持続性を高めるため各種研修などにより伴走支援する。

予算：休眠預金活用\_草の根活動 2024 の助成金 51,308,184 円

#### (3) 生きづらさを抱える人の支援事業

生きづらさを抱える人に対し、教育、生活、就労等の様々な面で支援する民間公益活動（5 団体程度）に助成金を交付する。

予算：本事業への寄付金 450,000 円

#### (4) かなめびと応援プロジェクト

2024 年度から 2026 年度まで休眠預金活用制度の助成を受けて実施される本事業について、事業主体の (N) ボランタリーネイバーズから一部事業の委託を受けて、組織運営コアスタッフの人材育成研修等により、民間公益活動団体の組織基盤強化の取り組みを支援する。

予算：受託料 2,940,000 円

## 2 将来の暮らしに関わる社会課題への対応を支援

### (1) 南海トラフ地震等大規模災害に備えた民間支援組織への支援事業

大災害発生時に民間支援組織が連携して効果的に支援活動できるようにするため、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県の民間公益活動団体（5 団体程度）に助成金を交付するとともに、各団体の連携・情報共有の進展を伴走支援する。一般財団法人日本民間活動連携機構に対し本年度から 2028 年度までの助成金を申請する。

予算：休眠預金活用\_災害支援事業助成金 7,500,000 円、本事業への寄付金 30 万円

### (2) 起業家精神はぐくみ活動への支援事業

これからの社会で求められる自律型で起業家精神に富む人材の育成のため、子どもの起業家精神と社会貢献意識を育む活動を支援する。

予算：本事業への寄付金 30 万円

## 3 資金調達の取組

本年度も上記事業の充実を図るため、本財団の活動に対する寄付募集を行う。

また、一般財団法人日本民間活動連携機構（JANPIA）が実施する休眠預金活動制度をはじめ、本財団の目的に合う助成金に積極的に応募するとともに、適切な公益目的事業の受託にも努める。

## III 財団運営について

### 1, 理事会・評議員会

- (1) 定時評議員会及び必要に応じて臨時会議を開催する。
- (2) 理事会は年 4 回の通常理事会及び必要に応じ臨時会議を開催し、適切な業務執行に関わる意見交換、意思決定を行う。
- (3) 業務執行理事と事務局メンバーによる事務局会議を原則週 1 回開催し、業務の執行状況の報告、意見交換を行う。